

レベル	Core		
科目群記号	A	科目群	研究機関と URA
科目番号	2	科目名	日本の URA
研修時間	90 分	実施形態	講義
評価方法	確認テスト（講義とは別に 30 分）		

#### <概要>

URA として、あるいは URA 部署を越えた人材として発展し、研究活動の活性化や組織の機能強化に、より一層貢献するために、自身の将来のキャリアを考える機会とする。また、世界の URA との交流のために、各国の URA 組織と業務の傾向を紹介する。そして、キャリアアップの一助となる自身の質の向上に資する URA の認定制度について説明する。

#### <達成目標>

1. URA として将来のキャリアを自身で描き、目標と為すべきことを把握する。
2. 海外の URA の業務を理解することで、国際的な視野で研究活動の活性化等を理解し、海外の関連専門人材との交流を円滑にすることができる。
3. URA スキル認定制度を理解するとともに、認定に向けて為すべきことを把握する。

#### <キーワード>

URA のキャリア、海外の URA、URA 機能の評価、URA の認定制度

#### <内容>

1. URA のキャリア
  - ・ URA としてのキャリアパス
  - ・ 海外の URA 人材のキャリアラダー
2. 海外の URA ネットワーク
  - ・ 各国の URA 団体
  - ・ 諸外国の URA 団体と比較した日本の URA 団体の特徴
3. URA 機能の評価
  - ・ 研究大学強化促進事業における取り組み
  - ・ URA 機能整備の効果把握指標の取り組み（米国の例、日本への示唆）
  - ・ 研究推進支援専門人材の配置効果の実証分析
4. URA の認定制度
  - ・ 認定制度に至る背景
  - ・ 検討過程での議論と基本的考え方
  - ・ 認定制度の枠組